

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 037	提案機関名 県央家畜保健衛生所
要望問題名 畜産におけるマーケティング戦略の実証	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 これまで、マーケティング調査手法を使い、ターゲットオーディエンスを特定するとともに、畜産物に対する県内消費者のニーズをとらえ、ニーズを生産者に伝え、商品の改良や消費者が求める畜産物を提供できるシステムの開発に取り組んでいるところと思います。 畜産物としての製品とサービスの展開、ブランディングしていく上での持続的な方向性の確認、またそのチェックについて、モデルケースとして現地実証的な取り組みとその検証について、ご検討願います。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 付加価値の高い畜産物の特徴づけに関する研究 (R3～4)		
対応の内容等	県内の一部の生産者は飼料、水、飼育方法、飼育環境などのこだわりをコンセプトとしてブランド化した畜産物を販売しています。ブランドを持続的に維持するためには、品質の維持と消費者がその畜産物に求める価値が合致することが必要です。当所では令和3年度よりブランド化し直売している畜産農家を対象として畜産物の特徴と消費者がその畜産物を購入する理由や販売価格との関係を明らかにする調査を行います。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			